

令和7年3月31日	
所 属	文化振興課
所属長	荏田 昭憲
電 話	06-6489-6385

A-LAB Exhibition Vol.47「ロックと演歌（仮）」を開催

1 趣旨

尼崎市では、アーツスペース「A-LAB」（えーらぼ）において、池原悠太と Omult.Venzer（オマルトヴェンザー）による展覧会「ロックと演歌（仮）」を開催します。

池原悠太はデジタルと日本画・油画などの技術を駆使して万物が流転する終末的な美の世界を描き、Omult.Venzer（オマルトヴェンザー）は主に関西に出没する謎のクリエイターで、無意味な機械装置や架空の資料などを並べて脱力アートとも言うべきゆるめの展示活動を行っています。

はたしてこの2組による展示は、水と油のようにまったくなじまないものになるのか、あるいは意外と相性が良いのか？ A-LAB で繰り広げられるアートの実験を、ぜひお楽しみください。

2 概要

会 期：令和7年4月26日（土）～6月22日（日）

会 場：A-LAB（尼崎市西長洲町2-33-1）

入場料：無料

時 間：午前10時～午後6時

※休館日：火曜日（ただし4月29日、5月6日は開館、4月30日、5月7日は休館）

出展者：池原悠太

Omult.Venzer

問合せ：尼崎市文化振興課

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

主 催：尼崎市

3 関連イベント

《アーティストトーク》

展示作品や企画にまつわるエピソード、面白い話などをアーティストに伺います。

日 時：4月26日（土） 午後2時～午後3時

以 上

A
LAB

A-LAB
Exhibition
Vol.47

池原悠太

Omurt.Venzler



ロックと



2025年4月26日(土) ↓ 6月22日(日)

演歌(仮)

午前10時 → 午後6時
火曜日休館
入場無料

会 期	2025 年 4 月 26 日 (土) ~ 6 月 22 日 (日)
開 館 時 間	午前 10 時 ~ 午後 6 時
会 場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休 館 日	火曜日 * 4 月 29 日、5 月 6 日は開館、4 月 30 日、5 月 7 日は休館
入 場 料	無料
主 催	尼崎市

開催要旨

池原悠太と Omult.Venzer（オマルトヴェンザー）による展覧会「ロックと演歌（仮）」を開催します。

それぞれのアーティストをご存じの方は、なぜこの 2 組が一緒に展示をするのだろうかと思を傾げられるかもしれません。池原悠太はデジタルと日本画・油画などの技術を駆使して万物が流転する終末的な美の世界を描き、国内外の芸術祭やアートフェアで活躍しています。一方、Omurt.Venzer は主に関西に出没する謎のクリエイターで、無意味な機械装置や架空の資料などを並べて脱力アートとも言うべきゆるめの展示活動を行っています。これまでも、そしてこれからもまったく接点のなさそうな 2 組ですが、異質の素材を融合してテーマを表現する手法、アートマーケットに対する肯定的もしくは否定的な態度など、両者に共通する切り口はいくつか見出すことができます。

展覧会タイトルは、Omurt.Venzer が知人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。はたしてこの 2 組による展示は、水と油のようにまったくなじまないものになるのか、あるいは意外と相性が良いのか？ A-LAB で繰り広げられるアートの実験を、ぜひお楽しみください。

関連イベント

アーティストトーク

日時：4 月 26 日（土）午後 2 時～午後 3 時

展示作品や企画にまつわるエピソード、面白い話などを出展作家に伺います。
要申込。定員先着 20 人。

イベント名、氏名、電話番号、参加人数を明記の上、
A-LAB（amalove.a.lab@gmail.com）までお送りください。

広報用画像

このプレスリリースに掲載されている画像データ（※ 5 ～ 6 ページ参照）をプレス掲載用にご用意しております。下記の使用条件をご了承の上、A-LAB までお申し込みください。

使用条件：

- ・広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを表示ください。
- ・トリミングや画像加工などはご遠慮ください。
- ・アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

A-LAB（午前 10 時～午後 6 時 * 火曜日休館）

担当：田野、八木

電話 / FAX 06-7163-7108 メール amalove.a.lab@gmail.com

尼崎市文化振興課（平日：午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分）

担当：山城、原田

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

出展作家

■ 池原悠太（いけはらゆうた）

1987 年 京都府京都市生まれ

2010 年 成安造形大学造形学部 卒業



制作ステートメント

再生や輪廻といった東洋思想をテーマに作品を制作しています。自然界と人間社会を想起させるメタファーとして動植物や人工物、ノイズなどが混成する世界を描いています。ペインティングや写真、画像、テクスチャなどのコラージュを用いて、あらゆる事物が大きな潮流の中で渾然一体となり循環していく様を表現しています。あらゆるものは衰亡と再生のプロセスの中にあると考え、その過程に価値を見出しています。

【主な個展】

2018 年「Imaginary Spaces」、日本美術技術博物館、ポーランド

2022 年「繰り返しの日々について」、C.A.P.、兵庫

2024 年「流転 FLUX」、HUACUI CONTEMPORARY ART MUSEUM、上海 など

【主な芸術祭】

2023 年「くどやま芸術祭 2023」、九度山、和歌山

2022 年「ニューイ・ブランシュ KYOTO 2022」二条城、京都

2022 年「BIWAKO ビエンナーレ 2022 “起源～ ORIGIN”」、彦根城、滋賀

2020 年「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2020」、六甲スカイヴィラ迎賓館、兵庫 など

出 展 作 家

■ Omult.Venzer（オマルトヴェンザー）



制作ステートメント

「遊びの延長」を理念とする造形アートブランド。「もの作りは生活を豊かにするための根源的な遊びである」との考えから、諧謔（かいぎやく）的な表現で日常について問いかける「もの作り」を実践し続けている。近年は、より豊かな生活を実現するための手段として「もの作り」を捉え、「遊びの延長」を表現する造形製作活動を行っている。

参考図版



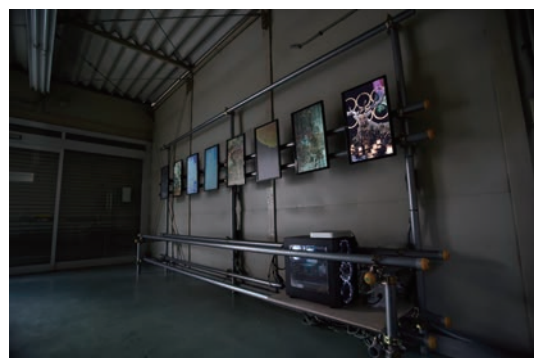
1



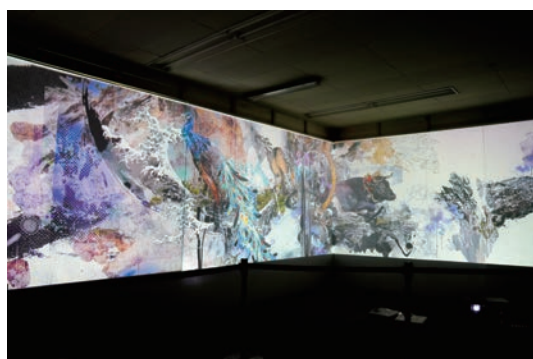
2



3



4



5



6

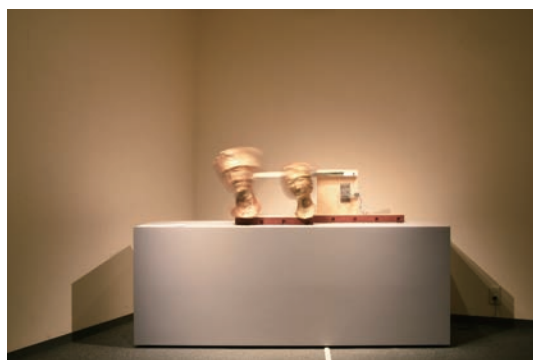
参考図版



7



8



9



10



11



12

< 画像情報 >

作者名 | 展覧会タイトル | 場所 | 制作年

1. 池原悠太 | 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2020 | 六甲山・兵庫 | 2020
2. 池原悠太 | BIWAKO ビエンナーレ 2016 “見果てぬ夢～Eternal Dream” | 近江八幡・滋賀 | 2016
3. 池原悠太 | 国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ 2022 “起源～ ORIGIN ～” | 彦根城・滋賀 | 2022
4. 池原悠太 | くどやま芸術祭 2021 | 九度山・和歌山 | 2021
5. 池原悠太 | くどやま芸術祭 2023 | 九度山・和歌山 | 2023
6. 池原悠太 | くどやま芸術祭 2023 | 九度山・和歌山 | 2023

作者名 | タイトル | メディア | 展覧会タイトル | 場所 | 制作年 | 撮影

7. Omult.Venzer | 《仔鹿・ニューボーン》 | モーター、ミクストメディア | 2018
8. Omult.Venzer | 《自己 PR 放送 どうなひと！？オマルト・ヴェンザー》 | 映像 (00;06;02) | 2020
9. Omult.Venzer | 《春風》 | モーター、ミクストメディア | オマルトヴェンザーのネヴァーランド (Omult.Venzer Art Project) | 茨木市立ギャラリー・大阪 | 2021 | 撮影 : One Art Project
10. Omult.Venzer | 《面と向かって口で言う》 | 音声基盤、ミクストメディア | オマルトヴェンザーの博物 (甲) | KOBE STUDIO Y3・兵庫 | 2022
11. Omult.Venzer | 《ウエルカム山小屋資料館～ある登山家の生涯～ (田岡和也×Omult.Venzer)》 | ミクストメディア | 神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond | 六甲山地域福祉センター・兵庫 | 2024 | 撮影 : 高嶋清俊
12. Omult.Venzer | 《描くのを邪魔するための装置》 | ミクストメディア | 櫻井類とオマルトヴェンザーの組体操 | BAISON GALLERY・兵庫 | 2023

次回展

A-LAB Exhibition Vol.48

A-LAB GO+ 関連企画

「A-LAB SUMMER FACTORY – モノとコト – (仮)」

2025 年 7 月 26 日(土) ～ 9 月 15 日(月 / 祝)

毎年 A-LAB では、市内各地域の生涯学習プラザに出向き、市内外で活躍するアーティストらによるワークショップを実施しています。今企画はそんなアーティストの普段の制作や作品をご紹介しますとともに、常時来館者がアート体験できるようなワークショッププログラムを実施予定です。

A
LAB

A-LAB
Exhibition
Vol.47

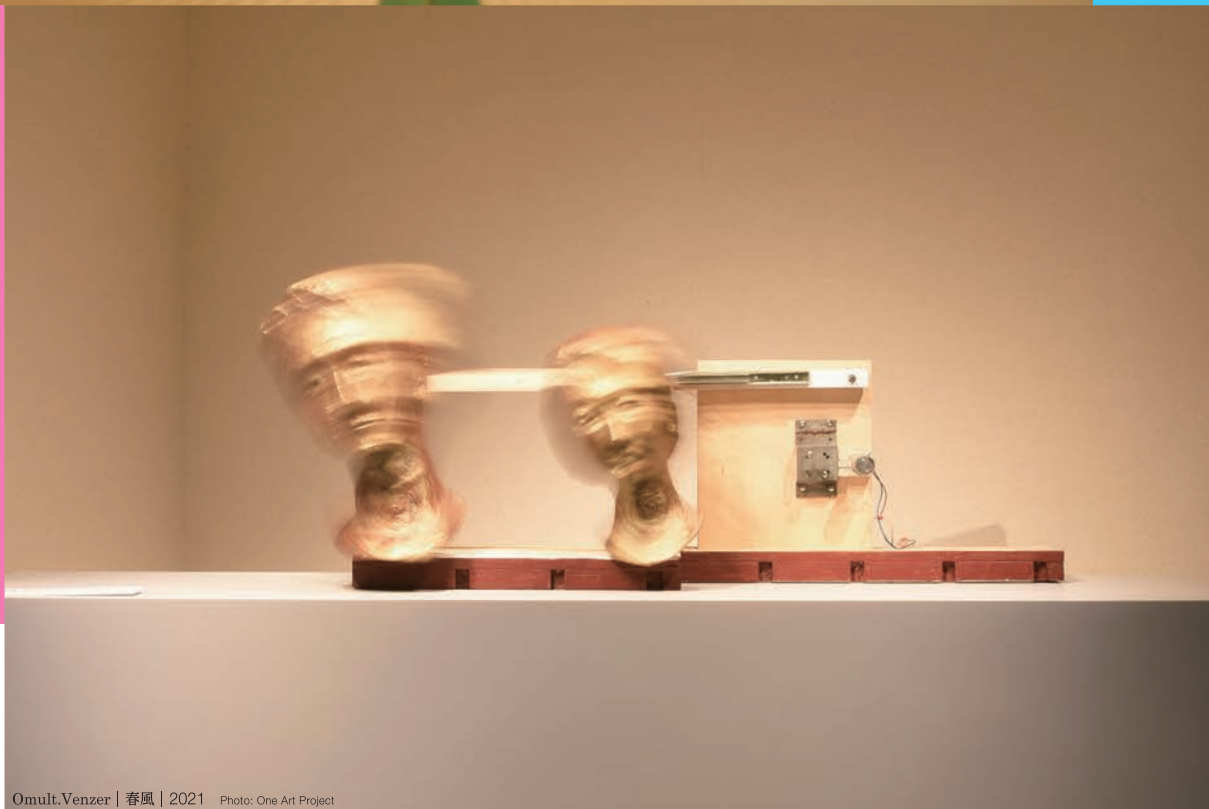
池原悠太

Omult.Venzer



池原悠太 | 国際芸術祭BIWAKO BIENNALE 2022 “起源～ ORIGIN ～”

ロ
ツ
ク
と



Omult.Venzer | 春風 | 2021 Photo: One Art Project

演歌(仮)

午前10時 → 午後6時
火曜日休館
入場無料

2025年4月26日(土) → 6月22日(日)



Omult.Venzer | 仔鹿・ニューボーン | 2018

それぞれのアーティストをご存じの方は、なぜこの2組が一緒に展示をするのだろうかと首を傾げられるかもしれません。池原悠太はデジタルと日本画・油画などの技術を駆使し

て万物が流転する終末的な美の世界を描き、国内外の芸術祭やアートフェアで活躍しています。一方、Omult.Venzer (オマルトヴェンザー) は主に関西に出没する謎のクリエイターで、無意味な機械装置や架空の資料などを並べて脱力アートとも言うべきゆるめの展示活動を行っています。これまでも、そしてこれからまったく接点のなさそうな2組ですが、異質の素材を融合してテーマを表現する手法、アートマーケットに対する肯定的もしくは否定的な態度など、両者に共通する切り口はいくつか見出すことができます。展覧会タイトルは、Omult.Venzerが知

人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。



池原悠太 | くどやま芸術祭2023

展覧会タイトルは、Omult.Venzerが知

人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。

展覧会タイトルは、Omult.Venzerが知

人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。



池原悠太 | 六甲ミーツ・アート芸術散歩2020



Omult.Venzer | 自己PR放送 どんなひと!?オマルト・ヴェンザー | 2020

はたしてこの2組による展示は、水と油のようにまったくなじまないものになるのか、あるいは意外と相性が良いのか? A-LAB (えーらぼ) で繰り広げられるアートの実験を、ぜひお楽しみください。

イベント

アーティストトーク 4月26日(土) 午後2時~3時

展示作品や企画にまつわるエピソード、面白い話などを
出展作家に伺います。定員先着20人。
メール (amalove.a.lab@gmail.com) で申込必要。
(イベント名、氏名、電話番号、参加人数を明記)

出展作家

池原悠太 IKEHARA Yuta



再生や輪廻といった東洋思想をテーマに作品を制作しています。自然界と人間社会を想起させるメタファーとして動植物や人工物、ノイズなどが混成する世界を描いています。ペインティングや写真、画像、テクスチャなどのコラージュを用いて、あらゆる事物が大きな潮流の中で渾然一体となり循環していく様を表現しています。あらゆるものは衰亡と再生のプロセスの中にあると考え、その過程に価値を見出しています。

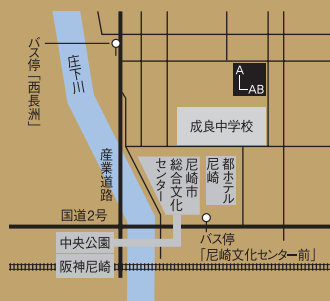
Omult.Venzer オマルトヴェンザー



「遊びの延長」を理念とする造形アートブランド。「もの作りは生活を豊かにするための根源的な遊びである」との考えから、諧謔的な表現で日常について問いかける「もの作り」を実践し続けている。近年は、より豊かな生活を実現するための手段として「もの作り」を捉え、「遊びの延長」を表現する造形製作活動を行っている。

A
LAB

2025年4月26日(土)―6月22日(日) 開館時間 | 午前10時―午後6時
休館日 | 火曜日 (ただし4月29日、5月6日は開館、4月30日、5月7日は休館)
入場料 | 無料



住所

尼崎市西長洲町 2-33-1
※会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先

A-LAB | TEL / FAX 06-7163-7108

尼崎市文化振興課

TEL 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

ama-a-lab.com

Facebook @amalove.a.lab

Instagram @alab_amalove

